

3-(5) 道路工品質管理一覧表

種別	試験区分	試験項目	試験基準	規格値	試験値又は管理値								備考 (試験方法等)
					No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	平均値	設計値	
工	材料	CBR試験(路床)	当初及び土質変化時 路体 1,000m ³ に1回	最大乾燥密度の 85%以上		No.			No.				JIS・A1211
		現場密度の測定	路床 500m ³ に1回	空気間隙率 2%≦Va≦8%		No.			No.				最大粒径53mm以下 砂置換法 JIS・A1214 最大粒径53mm超 突砂法
						No.			No.				舗装調査・試験法便覧〔4〕-256
						No.			No.				舗装調査・試験法便覧〔4〕-256
材	料	ブルーフローリング	路床仕上後全幅 全区間について実施 当初及び材料変化時		良好 不良(内容: ※不良の場合の措置:								舗装調査・試験法便覧〔4〕-288
材	料	骨材のふるい分け試験	当初及び材料変化時	40～0mm 53mm 100% 37.5mm 95～100 19mm 50～80 4.75mm 15～40 2.36mm 5～25									JIS・A1102 JIS・A5001 表2参照
材	料	修正 CBR 試験	当初及び材料変化時	粒状路盤 20%以上									舗装調査・試験法便覧〔4〕-68
材	料	425 μ m ふるい 通過分のPI	当初及び材料変化時	6以下									JIS・A1205
施	工	現場密度の測定	1,000m ³ に1回	締固め度 % $\bar{X}_{10} \geq 95$ $\bar{X}_6 \geq 96$ $\bar{X}_3 \geq 97$ 但し10回に9回は93.0%以上 平板載荷試験 k30=15g/㎡		No.			No.				舗装調査・試験法便覧〔4〕-256
						No.			No.				
						No.			No.				
						No.			No.				
材	料	ブルーフローリング	仕上後全区間に ついて実施		良好 不良(内容: ※不良の場合の措置:								舗装調査・試験法便覧〔4〕-288
材	料	骨材のふるい分け試験	当初及び材料変化時	40～0mm 25～0mm 53mm 100% 37.5mm 95～100 31.5mm 100% 26.5mm 95～100 19mm 60～90 13.2mm 55～85 4.75mm 30～65 30～65 2.36mm 20～50 20～50 425um 10～30 10～30 75um 2～10 2～10									JIS・A1102 JIS・A5001 表2参照 舗装施工便覧(表-3.4.3)
材	料	修正 CBR 試験	当初及び材料変化時	80%以上(アスファルトコン クリット再生材90%以上)									舗装調査・試験法便覧〔4〕-68
材	料	425 μ m ふるい 通過分のPI	当初及び材料変化時	4以下									JIS・A1205
施	工	現場密度の測定	1,000m ³ に1回	締固め度 % $\bar{X}_{10} \geq 95$ $\bar{X}_6 \geq 95.5$ $\bar{X}_3 \geq 96.5$ 但し10回に9回は93.0%以上		No.			No.				舗装調査・試験法便覧〔4〕-256
						No.			No.				
						No.			No.				
						No.			No.				
材	料	粒度	1,000m ³ に1回	2.36mm ±15%以内 75um ±6.0%以内									舗装調査・試験法便覧〔2〕-16
ア	ス	骨材のふるい分け試験	当初及び材料変化時	(13) 19mm 100% 13.2mm 95～100 4.75mm 55～70 2.36mm 35～50 600um 18～30 300um 10～21 150um 6～16 75um 4～8									JIS・A1102 JIS・A5001 表2参照
フ	ア	骨材の密度及び吸水 率試験	当初及び材料変化時	表乾密度 2.45g/cm ³ 以上 吸水率 3.0%以下									JIS・A1109 JIS・A1110
													JIS・A1137
フ	ア	骨材中の粘土塊量 試験	当初及び材料変化時	粘土、粘土塊量: 0.25%以下									
フ	ア	粗骨材の形状試験	当初及び材料変化時	細長、あるいは扁平な 石片:10%以下									舗装調査・試験法便覧〔2〕-51
フ	ア	フィラーの粒度試験	当初及び材料変化時	600um 100% 150um 90～100% 75um 70～100%									JIS・A5008 舗装施工便覧 表3.3.17による
フ	ア	フィラーの水分試験	当初及び材料変化時	1%以下									JIS・A5008
ブ	ラ	配合試験	配合ごとに1回 (50t未満は省略することができる。)	O.A.C 密度 理論密度 空隙率 飽和度 安定度 フロー値									O.A.Cとは最適アスファルト量 舗装調査・試験法便覧〔3〕-5
													舗装調査・試験法便覧〔2〕-16
ラ	ン	合材抽出試験	アスファルト量	±0.9%以内									舗装調査・試験法便覧〔4〕-238
ト	舗	温度測定	1時間ごと	配合設計の混合温度。 185℃を超えてはならない									温度計による
舗	装	粒度 (2.5mmふるい)	2.36mmふるい 1～2回/日	±12%以内基準粒度									舗装調査・試験法便覧〔4〕-16
舗	装	粒度 (75umふるい)	75umふるい 1～2回/日	±12%以内基準粒度									舗装調査・試験法便覧〔4〕-16
施	工	温度測定 (初転圧前)	測定値の記録1日4回 (午前・午後各2回)	110℃以上									温度計による
施	工	現場密度の測定 (コア密度)	3孔以上	$\bar{X}_{10} \geq 96$ $\bar{X}_6 \geq 96$ $\bar{X}_3 \geq 96.5$ 基準密度の94.0%以上									舗装調査・試験法便覧〔3〕-91
施	工	アスファルト量抽出試験	1,500m ³ に1回	$\bar{X}_{10} \pm 0.55$ $\bar{X}_6 \pm 0.50$ $\bar{X}_3 \pm 0.50$ ±0.9%以内									舗装調査・試験法便覧〔4〕-238